

宇宿小学校 NIE 部会 平成 27 年度の取組について

I 各学年の NIE の目標

- ☐ 低学年 → 新聞の写真に興味を持ち、親子で新聞に親しむことができる。
- ☐ 中学年 → 新聞の記事を読み、自分の考えを持つことができる。
- ☐ 高学年 → 記事と自分の考えを比べたり、くわしく調べたりして、意見文を書くことができる。

II 具体的取組

1 全学年共通の取組

☐ 校内 NIE コンクール

… 夏休みに実施。興味を持った記事に自分の考えを添えて文章を書く。学年ごとに特選・入選・佳作を選ぶ。特選作品は全校朝会で紹介し、新聞感想文コンクールへ応募。



「NIE コンクール」表彰式・特選作品発表



「新聞感想文コンクール」表彰式

☐ NIE コーナーの設置

… 学年→水道前の壁を活用。「オセモコ」「紹介記事」「児童の新聞感想文」等の掲示。各教室にも設置する。



校長室前廊下掲示



「高学年」ファミリーフォーカス



「低学年」オセモコ掲示

- ☐ 委員会活動での取組 … 気になる記事の紹介。新聞感想文の掲示など。
- ☐ 子どもの作品投稿 … 南日本新聞「ひろば」「子どものうた」「オセモコ」

2 各学年の取組 ※ 週 1 回～月 1 回程度を目安に継続的に取り組む活動

1 年 担任が新聞記事を紹介し、感想を発表し合う。 ・ 季節行事・スポーツ等の紹介。

2 年 写真を中心に新聞記事を紹介し、感想を書く。
・ 将来の夢に関係する写真を選んで紹介する。・ まち探検新聞を作成し、商店街に贈る。

3 年 新聞から興味・関心のある写真や記事を探し、感想文や紹介文を書く。
・ 帰りの会等での新聞スピーチ ・ NIE コーナーに掲示。

4 年 作文ノートに新聞記事を貼り、その記事に対しての意見文を書く。
・ 国語科授業での取組（新聞を作ろう、漢字の広場）

5 年 規定用紙に新聞記事を貼り、その記事に対しての意見文を書く。
・ 関心がある記事を読み、感想を記入し NIE コーナーに掲示・朝の会等での 1 分間スピーチ

6 年 気になった記事、記事の内容、自分の考えを 200 字程度にまとめる。
・ 南風録スクラップ帳の取組（毎週）・気になった記事の感想を書く（月一回。家庭学習）



3. 授業実践

授業実践 1年 国語科

- ☐ 単元 しんぶんをつかって
- ☐ 目標 新聞に掲載されている写真を見て、感想を持つことができる。
- ☐ 事前 最近の新聞で、児童が興味を持つような記事を取り上げ、興味や好奇心を持たせる。
- ☐ 本時の流れ（1／1時間目）
 - (1) 新聞記事を紹介する。
 - (2) 数人の感想を聞く。
 - (3) 新聞をめくって、興味を持った写真を見つける。
 - (4) お家の方に読んでもらう。
 - (5) 感想を書く。
 - (6) 感想をグループで聞き合う。
- ☐ 事後 お家でも、興味を持った新聞の写真を見つれたり、親子で読んだりすることで興味を深めてもらう。
- ☐ 成果と課題
 - お家の方に読んでもらうことで、新聞記事への関心も高まった。
 - 友達の感想を聞くことで、他の記事にも興味を持つことができた。
 - ▲ 新聞の記事を1ヶ月分として配布したが、8/13～15分は、1年生にとって、難しい内容であった。



「1年」授業参観



「2年」日曜参観・児童作品



授業実践 2年 国語科

- ☐ 単元 「カレンダー」「写真立て」を作ろう！
- ☐ 目標 新聞記事の写真を選び、写真立てやカレンダーを作ることによって、社会面・スポーツ面の記事にふれる。
- ☐ 事前 家族と話し合い、貼るための写真を決める。
- ☐ 学習の流れ（日曜参観で実施）
 - (1) 選んだ写真の記事の内容を親子で話し合う。
 - (2) 写真を切り抜いて、写真立て・カレンダーの台紙に貼る。
 - (3) 選んだ写真に関連したコメントや絵を描いて飾りつけをする。
 - (4) グループごとに、お互いの作品を鑑賞する。
- ☐ 成果と課題
 - 親子で取り組むことにより、子どもたちは、保護者から記事の内容や関連する出来事を分かりやすく教えてもらうことができた。
 - 地域の特産品を知ったり、スポーツ面などから自分の将来の夢を持ったりするよい機会となった。
 - ▲ 新聞購読をしていない家庭があるので、全家庭が新聞を使えるようにする確認と準備が必要である。



授業実践 3年 国語科

- ☐ 単元 しりょうから分かる、小学生のこと
- ☐ 目標 資料（新聞記事）から分かったことや考えたことなどの情報を選んで分析し、筋道を立てて、話すことができる。
- ☐ 事前 新聞を読み、みんなに知らせたい記事を見つける。
- ☐ 本時の流れ（1／7時間目）
 - (1) 本単元で、新聞の記事の中で相手に伝えたいことを決めることを確認する。
 - (2) 新聞を見て、伝えたい記事を見つける。
 - ・記事や写真から記者が伝えたいことを読み取る。
 - ・自分が気になる記事を見つける。
 - (3) 記事から気づいたことや分かったことをノートに書く。
 - (4) 次時にどのように話したら相手に伝わるか考える。（次時へのつなぎ）
- ☐ 事後 新聞スピーチ等で継続して伝える機会を作る。
- ☐ 成果と課題
 - 全国・地域・スポーツなどの紙面を興味深く目を通すことができた。気になるニュースやヒーロー・ヒロイン探しなどの視点を持ち、読むことに積極的な面がでてきた。
 - ▲ 見出しで大まかな出来事を想像しているが、詳細な内容の読み取り（未習漢字や文章表現等、発達段階における読み取り）が難しい。

授業実践 4年 国語科

- ☐ 単元 アップとルーズで伝える
- ☐ 目標 新聞記事の写真を選び、写真が伝えていることをまとめる。
- ☐ 事前 説明文を読み、それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読む。
- ☐ 本時の流れ（7／8時間目）
 - (1) これまで学習してきたことを確認する。
 - (2) 新聞を見て、アップとルーズの使われ方と、そのよさを見つける。
 - (3) 見つけた写真を切り取り、使われ方の特徴を整理してまとめる。
 - ・写真を撮った人が何を伝えたいかで、アップとルーズを使い分けている。
 - ・アップとルーズ両方を使った写真もある。
- ☐ 事後 説明文をグループで紹介し合う。
- ☐ 成果と課題
 - 新聞にあるアップとルーズの効果を知ることで、写真を用いた説明方法を学んだ。
 - ▲ 写真を説明する言葉の語彙力不足があるため、評価語彙表や国語辞典の活用など、語彙力を高める必要がある。



授業実践 5年 国語科

- ☐ 単元 新聞を読もう
- ☐ 目標 見出しやリード文から要旨をとらえたり、複数の新聞記事を読み比べることの意味や効果を知ったりすることができる。
- ☐ 事前 興味深い記事や心に残った写真等を新聞の中から探し、新聞に興味を持たせる。
- ☐ 本時の流れ（2／2時間目）
 - (1) 二つの新聞の写真・見出しを比べ、気づいたことを話し合う。
 - (2) それぞれの記事に対応する本文を音読する。
 - (3) 二つの記事を比べて読み、書かれている内容の違いや受ける印象を考える。
 - (4) 新聞を読む学習を通して考えたことや感じたことを発表する。
- ☐ 事後 学年NIEコーナーに二つの新聞記事を掲示し、読み比べをする。
- ☐ 成果と課題
 - 新聞に対する興味が高まり、意欲的に新聞を読もうとする児童が増えた。
 - 報告文を書く際などにも、より客観的な視点で考えたり、伝わりやすい文を考えられるようになった。
 - ▲ 漢字の読み取りが難しい児童は、新聞への壁が少なくなる。

授業実践 6年 国語科

□ 単元 「平和」について考える

□ 目標

- ・ 「平和」をめぐる自分の意見が納得力を持つように具体例や資料を集め、意見を明確に伝えるために文章全体の構成の効果を考えることができる。
- ・ 話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで、意見を主張できる。
- ・ 話し手の意図を捉え、自分の意見と比べながら聞き、助言や提案することができる。
- ・ 書き言葉と話し言葉の違いに気づくことができる。

□ 事前

- ① 「平和のとりでを築く」を読み、「平和」について考える。
- ② 学習の見通しをもつ。
- ③ 意見文の例を読み、意見文の書き方を知る。
- ④ 平和についての自分の考えを短い文章にまとめ、「仮の要旨」を決める。
- ⑤ 本時（2／2時間目）
 - (1) 自分の「仮の要旨」を確認する。
 - (2) 新聞の記事から意見に説得力をもたせる記事を見つける。
 - (3) 見つけた記事から、自分の要旨を確定する。
 - (4) 意見文の構成を考える。

□ 事後

- ⑥ 意見文の構成をもとに、記述する。
- ⑦ グループで表現や構成について助言し合う。
- ⑧ 中原さんのスピーチ CD を聞き、意見文をもとに、スピーチの構成を考える。
- ⑨ 中原さんのスピーチ CD を聞き、音声面での工夫を確認する。
- ⑩ スピーチの練習をし、よりよいスピーチとなるように助言し合う。
- ⑪ スピーチをする。また、スピーチを聞き、感想をまとめる。

□ 成果と課題

- 新聞の記事をもとに、自分なりの意見文を書くことができた。
- 具体例を取り上げることにより、意見文の構成を考え、説得力のある文を書くことができた。
- ▲ 新聞の記事を生かしたスピーチをすることは難しい。
- ▲ 自分の意見文に最適な記事収集が難しく、全員が取り組めなかった。

Ⅲ 成果と課題

1 成果

- ファミリーフォーカスを中心に、全学年で年間を通して新聞にふれる体制が整い、児童が世の中のことを知ったり自分の考えを表現したりできるようになった。
- 日常の会話や日記等で、児童の方から時事に関する話題が出るようになった。
- 長文の主述や要旨をとらえて読む力が向上し、校内研修（国語科「読むこと」）の実践に役立っている。
- 夏季休業中に外部講師を招き、N I E と学習指導要領、各教科等での新聞活用、ファミリーフォーカス等について職員研修を行い、2 学期以降のN I E の活動へつなげることができた。

2 課題

- ▲ 低学年の取組は保護者の協力を頼ることが多く、ファミリーフォーカスに向けての事前の協力依頼や、取り組みやすいワークシートの工夫改善が必要である。
- ▲ 高学年のスクラップ帳・スピーチは、継続して意欲的に取り組めるよう個人差に応じた手立ての工夫が必要である。
- ▲ 指導する立場の教師が、普段から指導に適した新聞記事を切り抜き、学年間・学校間で共有できる体制を整える必要がある。